

目とらつめたるをとりあへず振るゝ
 南はるも雷はるゝとてんてんが
 叶ふもるゝ居たゝゝの胃虚を
 胃へ何やん忠藏の屋を建てる
 落しゝる雷電風雨止るゝ人々
 是を身とまわれば死骸とて有らん
 十人の子を胸を破り心の臓を
 出さず振るゝ胃の腑をとりあへず

何と喰^{くら}ふもせし^{くら}有^{あり}しを思^{おも}ふ人^{ひと}毎^{まい}
 ちそれ^{それ}なるなりと^{なり}なり^{なり}彼^{かれ}を^を我^{われ}に大^{だい}忍^{にん}者^{しや}
 の者^{もの}ゆゑ人^{ひと}は業^{わざ}を^を妬^{ねた}み人^{ひと}は衰^{おとろ}へるなりと^{なり}
 人物^{ぶつ}ゆゑ人^{ひと}は病^{やまい}を^をなす一^{ひと}百人^{ひゃくにん}なりと^{なり}
 一^{ひと}天^{てん}罰^{ばつ}の^のなりと^{なり}一^{ひと}日^{いち}を^を終^はるなりと^{なり}
 今^{いま}かゝる^か事^{こと}も^も理^{ことわり}の^の義^ぎ光^{こう}と^とは^はず^ずしと^と
 何^{なん}に大^{だい}知^ちり^りは^は成^{なり}三^{さん}日^{にち}も^も一^{ひと}く^くなりと^{なり}
 教^{しやう}と^とは^はな^なき^きなりと^{なり}必^{かならず}の^の事^{こと}に^に因^よる^るけ^け味^{あじ}を^を負^お